

10/522617

PCT/JP03/07582

10 Rec'd PCT/PTO

31 JAN 2005

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

13.06.03

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

RECEIVED	
04 JUL 2003	
WIPO	PCT

出願年月日  
Date of Application: 2002年 9月30日

出願番号  
Application Number: 特願2002-285598  
[ST.10/C]: [JP2002-285598]

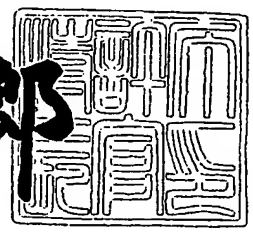
出願人  
Applicant(s): 三洋電機株式会社  
鳥取三洋電機株式会社

PRIORITY DOCUMENT  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH  
RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 4月 4日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

太田信一郎



BEST AVAILABLE COPY

出証番号 出証特2003-3023431

【書類名】 特許願

【整理番号】 BBA2-0027

【提出日】 平成14年 9月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G01C 21/00

【発明者】

    【住所又は居所】 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取三洋電機株式会社内

    【氏名】 小谷 清史

【発明者】

    【住所又は居所】 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取三洋電機株式会社内

    【氏名】 飯田 進

【発明者】

    【住所又は居所】 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取三洋電機株式会社内

    【氏名】 澤田 宏二

【特許出願人】

    【識別番号】 000001889

    【氏名又は名称】 三洋電機株式会社

【特許出願人】

    【識別番号】 000214892

    【氏名又は名称】 鳥取三洋電機株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100111383

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 芝野 正雅

    【連絡先】 03-3837-7751 知的財産センター 東京事務所

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013033

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9904451

【包括委任状番号】 9904463

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ナビゲーション装置及びサーバ装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信により出発地と目的地をサーバ装置へ送信し、該サーバ装置によって経路検索された経路と地図情報とを前記サーバ装置から取得し、取得した経路と地図情報を記憶する地図情報記憶部を備えたナビゲーション装置において、

前記地図情報は地図作成日時を有し、前記地図情報記憶部が、前記サーバ装置から出発地から目的地までの連続した地図情報を既に記憶しているときは、出発地から目的地までの連続した地図情報の前記日時の情報を前記サーバ装置に送信し、前記地図情報記憶部に記憶されている地図情報よりも前記日時の新しい地図情報のみをサーバ装置から取得して前記地図情報記憶部に記憶し、前記地図情報記憶部に記憶されている地図情報を用いて経路検索を行うことを特徴とするナビゲーション装置。

【請求項 2】 前記地図記憶部が、出発地から目的地までの連続した地図情報を記憶していないときは、前記サーバ装置へ前記出発及び目的地の情報を送信し、前記サーバ装置で検索された経路と、該経路上の地図情報であって、前記地図情報記憶部に記憶していない地図情報及び前記地図情報記憶部に記憶している地図情報よりも前記日時の新しい地図情報を取得することを特徴とする請求項 1 記載のナビゲーション装置。

【請求項 3】 通信によりナビゲーション装置から出発地と目的地を取得し、出発地から目的地までの経路検索を行い、検索した経路と該経路上の地図情報を前記ナビゲーション装置に送信するサーバ装置において、

前記地図情報は作成日時の情報を有し、前記ナビゲーション装置から前記ナビゲーション装置が記憶している出発地から目的地までの連続した地図情報の前記日時の情報を取得すると、取得した地図情報の前記日時と前記サーバ装置が記憶している地図情報の前記日時とを比較し、前記日時の新しい地図情報のみを前記ナビゲーション装置へ送信することを特徴とするサーバ装置。

【請求項 4】 前記ナビゲーション装置から出発地及び目的地の情報と前記ナ

ナビゲーション装置が記憶している地図情報の前記日時の情報とを取得すると、前記出発地から目的地までの経路検索を行い、出発地から目的地までの経路と、該経路上の地図情報であって、前記ナビゲーション装置が記憶していない地図情報及び前記ナビゲーション装置から取得した地図情報の前記日時より新しい前記日時の地図情報とを前記ナビゲーション装置へ送信することを特徴とする請求項3記載のサーバ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、通信により地図情報を取得するナビゲーション装置、及びそのナビゲーション装置に地図情報を送信するサーバ装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来より、地図情報等を提供して経路誘導を行う経路誘導システムが知られている。例えば、グローバルポジショニングシステム受信機を備えた移動機と、地図情報等のデータベースを備えた管理局とを有する移動通信におけるナビゲーション方法においては、移動機から通知された位置情報と目的地情報により、データベースから現在地周辺地図及び目的地までの経路を検索し、この検索により得られた経路情報が移動機へ送信され、移動機の表示部に経路情報が表示されるので、より正確に経路誘導を行うと共に利用者が必要なときに必要な情報を取得でき、また、地図情報のみならず利用者の多岐に渡る情報要求にも対応することができる（例えば、特許文献1参照。）。

【0003】

また、従来の通信型ナビゲーションシステムは、車両に搭載されたりハンディ型に構成された端末局としての経路案内装置と、情報センタ等の基地局としての経路情報提供装置との間で、位置情報、経路案内に関する情報等のデータを通信により送受信することにより、経路案内装置に目的地までの経路情報を提供して経路案内を行う通信型ナビゲーションシステムに関し、探索された経路から経路案内装置が未通過の経路のみを選別して送受信するものがある（例えば、特許文

献2参照。 ) 。

【0004】

【特許文献1】

特開2000-213952号公報（第3-4頁、第1図）

【特許文献2】

特開2000-18955号公報（第4-12頁、第1図）

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、特許文献1のような方法によると、管理局は検索した経路に係る地図情報の全てを移動機に送信するので、送信データ量は膨大なものとなり、通信に長時間を要することとなるため、通信コストが増大すると共に、処理時間が長くなるという問題がある。特に、現在地から目的地までの間が長距離である場合に、通信時間及び通信費の増大は無視できないものとなる。また、通信時間が長時間に亘るため、通信の混雑を招き、通信不良、通信中断等の不具合を生じやすいという問題がある。

【0006】

また、特許文献2のような通信型ナビゲーションシステムによると、以前に通過したことのある既知の経路については、利用者は予め認識している場合が多く、目的地までの経路中の未知の経路部分の地図情報のみを取得すれば既知の地図情報がなくても目的地まで走行するのに大きな問題はないとしている。しかし、この通信型ナビゲーションシステムによると、経路案内は取得したが目的地へは行かなかった場合でも次回の検索時には既知の経路として処理されてしまい、地図情報を取得することができない。また、これを防止するために既に通過した経路だけを経路情報提供装置に知らせるためには通過した情報をデータ送信しなければならず余計な通信費がかかる。

【0007】

本発明は、上記の問題点に鑑み、通信時間の短縮及び通信費の削減を実現するナビゲーション装置を提供することを目的とする。

【0008】

## 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明のナビゲーション装置は、通信により出発地と目的地をサーバ装置へ送信し、該サーバ装置によって経路検索された経路と地図情報とを前記サーバ装置から取得し、取得した経路と地図情報を記憶する地図情報記憶部を備えたナビゲーション装置において、前記地図情報は地図作成日時の情報を有し、前記地図情報記憶部が、前記サーバ装置から出発地から目的地までの連続した地図情報を既に記憶しているときは、出発地から目的地までの連続した地図情報の前記日時の情報を前記サーバ装置に送信し、前記地図情報記憶部に記憶されている地図情報よりも前記日時の新しい地図情報のみをサーバ装置から取得して前記地図情報記憶部に記憶し、前記地図情報記憶部に記憶されている地図情報を用いて経路検索を行うことを特徴とするものである。

## 【0009】

このように、経路案内時においてナビゲーション装置に出発地から目的地までの連続した地図情報が記憶されている場合は、サーバ装置へ記憶している地図情報の更新日に関する情報のみを送信し、記憶している地図情報が古い場合のみ地図情報を取得することにより、不要な通信時間及び通信費を必要とせず最新の地図情報を取得することができる。

## 【0010】

また、上記ナビゲーション装置に加え、前記地図記憶部が、出発地から目的地までの連続した地図情報を記憶していないときは、前記サーバ装置へ前記出発及び目的地の情報を送信し、前記サーバ装置で検索された経路と、該経路上の地図情報であって、前記地図情報記憶部に記憶していない地図情報及び前記地図情報記憶部に記憶している地図情報よりも前記日時の新しい地図情報を取得することを特徴とするものである。

## 【0011】

このように、ナビゲーション装置に出発地から目的地までの連続した地図情報が記憶されていない場合は、サーバ装置から走行予定経路と地図情報記憶部にない地図情報と記憶している地図情報よりも更新日の新しい地図情報のみを取得することにより、通信時間の短縮及び通信費の削減を実現することができる。

## 【 0 0 1 2 】

また、本願発明のサーバ装置は、通信によりナビゲーション装置から出発地と目的地を取得し、出発地から目的地までの経路検索を行い、検索した経路と該経路上の地図情報を前記ナビゲーション装置に送信するサーバ装置において、前記地図情報は作成日時の情報を有し、前記ナビゲーション装置から前記ナビゲーション装置が記憶している出発地から目的地までの連続した地図情報の前記日時の情報を取得すると、取得した地図情報の前記日時と前記サーバ装置が記憶している地図情報の前記日時とを比較し、前記日時の新しい地図情報のみを前記ナビゲーション装置へ送信することを特徴とするものである。

## 【 0 0 1 3 】

このように、ナビゲーション装置より地図情報の作成日時の情報を取得すると取得した作成日時の情報とサーバ装置に記憶されている地図情報の作成日時とを比較し作成日時の新しい地図情報のみを送信するので、送信するデータ量を削減することができる。

## 【 0 0 1 4 】

また、上記サーバ装置に加え、前記ナビゲーション装置から出発地及び目的地の情報と前記ナビゲーション装置が記憶している地図情報の前記日時の情報とを取得すると、前記出発地から目的地までの経路検索を行い、出発地から目的地までの経路と、該経路上の地図情報であって、前記ナビゲーション装置が記憶していない地図情報及び前記ナビゲーション装置から取得した地図情報の前記日時より新しい前記日時の地図情報とを前記ナビゲーション装置へ送信することを特徴とするものである。

## 【 0 0 1 5 】

このように、ナビゲーション装置から、出発地と目的地との情報とナビゲーション装置が記憶している地図情報の作成日時の情報とを取得すると、検索した経路と経路上の地図情報であって、ナビゲーション装置に記憶されていない地図情報及びナビゲーション装置に記憶されている地図情報よりも新しい地図情報を送信するので、経路と最新の地図情報を少ない情報量で送信することができる。

## 【 0 0 1 6 】



## 【発明の実施の形態】

以下に本発明の実施形態を図面を参照して説明する。図1は、通信システムの構成を示すブロック図である。10はナビゲーション装置であり、11はナビゲーション装置10と通信するサーバ装置、12はサーバ装置11に接続されたデータベースである。データベース12は地図情報13を有している。なお、データベース12はサーバ装置11内に設けてもよい。

## 【0017】

サーバ装置11は、ナビゲーション装置10からの要求により、データベース12より地図情報13を読み出してナビゲーション装置10へ送信する。なお、ナビゲーション装置10とサーバ装置11間の通信は、無線通信できれば特に限定はなく、例えば、インターネットを介して通信する場合は、自動車電話や携帯電話等の電話網を利用することができる。

## 【0018】

図2は、ナビゲーション装置10の構成を示すブロック図である。20はGPS受信機、速度センサ、及びジャイロ等を用いて現在位置、進行方向、速度、及び高度等の情報を得る現在位置検出部であり、21はサーバ装置11との通信を制御する通信制御部、22は通信制御部21に接続され無線通信するためのアンテナである。

## 【0019】

また、23は地図情報や現在位置を表示する液晶ディスプレイ等からなる表示部であり、24はユーザが目的地の設定等の入力を行う操作部、25は地図情報と地図情報が基本情報として有している地図情報の作成日時とを記憶する地図情報記憶部である。なお、地図情報の作成日時とは新しく地図情報を作成した日時だけでなく、新しい道路などができたときに地図情報を書き換えた更新日時も意味する。

## 【0020】

また、26は目的地や走行予定経路等を一時記憶するRAM、27はナビゲーション装置10の動作に必要なプログラムを記憶しているROM、28はROM27のプログラムに基づいてナビゲーション装置10を制御するマイクロコンピ

ユーザ等で構成された制御部である。なお、地図情報記憶部 2 5 には D R A M 等の記憶媒体や外部記憶媒体を用いることができる。

#### 【 0 0 2 1 】

次に、経路案内時の通信システムの動作について説明する。図 3 は、ナビゲーション装置 1 0 とサーバ装置 1 1 との動作を示すフローチャートである。まず、ユーザがナビゲーション装置 1 0 の操作部 2 4 を操作して目的地を入力し、経路検索実行キー（不図示）を押下する。それにより、ナビゲーション装置 1 0 はステップ S 1 0 において目的地を R A M 2 5 に記憶し、ステップ S 1 1 へ進んで現在位置及び目的地の位置情報と地図情報記憶部 2 5 が記憶している地図情報とに基づいて、地図情報記憶部 2 5 が、現在位置から目的地までの連続した地図情報を記憶しているか否かを判別する。

#### 【 0 0 2 2 】

なお、目的地の入力方法としては、住所又は電話番号で指定する方法や、表示されている地図上で指定する方法がある。地図上で指定する場合、地図情報記憶部 2 5 が所望の目的地を含んだ地図情報を有していないことがあり得る。この場合、サーバ装置 1 1 から目的地周辺の地図情報を取得すればよい。

#### 【 0 0 2 3 】

ステップ S 1 1 において地図情報記憶部 2 5 に現在位置から目的地までの連続した地図情報が記憶されているときは、ステップ S 1 2 へ進んで制御部 2 8 は地図情報記憶部 2 5 内の現在位置から目的地までの地図情報の作成日時の情報をサーバ装置 1 1 へ送信する。

#### 【 0 0 2 4 】

ステップ S 1 2 が完了すると、サーバ装置 1 1 は、ステップ S 2 0 においてナビゲーション装置 1 0 が送信した地図情報の作成日時の情報を受信し、ステップ S 2 1 へ進んでサーバ装置 1 1 はデータベース 1 2 へアクセスして作成日時を比較する。そして、ステップ S 2 2 においてサーバ装置 1 1 は、ナビゲーション装置 1 0 より受信した地図情報の作成日時がデータベース 1 2 に記憶されている地図情報 1 3 の作成日時が同じであれば更新無しの情報を、作成日時が古いものであれば新しい地図情報をデータベース 1 2 より読み出しナビゲーション装置 1 0

へ送信する。

【0025】

ステップS22が完了すると、ナビゲーション装置10は制御部28の指示に基づきステップS13においてサーバ装置11からの新しい地図情報を受信し、地図情報記憶部25に記憶する。このとき、新しい地図情報は古い地図情報を上書きして記憶することが望ましい。ここで、サーバ装置11から地図情報の更新無しの情報を受信した場合は地図情報は受信しない。

【0026】

ステップ13が完了するとステップS14へ進んで制御部28は地図情報記憶部25内の地図情報を用いて経路検索を行う。経路検索が完了するとステップS15へ進んで表示部23に地図情報に重ねて現在位置と走行予定経路とを表示する。その後、現在位置の移動に合わせて画面をスクロールさせ、目的地まで経路を案内する。

【0027】

ここで、経路案内時にナビゲーション装置10は予め現在位置付近の地図情報を地図情報記憶部25に記憶しているものとする。その地図情報は、前回ナビゲーション装置10を使用したときから記憶しているものでもよく、また、ナビゲーション装置10の電源ON時に自動的に現在位置付近（例えば、現在位置を中心として半径5km内の領域）の地図情報を受信するようにしてもよい。

【0028】

一方、ステップS11において地図情報記憶部25に現在位置から目的地までの連続した地図情報が記憶されていないとき、つまり一部分でも地図情報が途切れているときは、ステップS16へ進んで現在位置及び目的地の位置情報と地図情報記憶部25が記憶している地図情報の領域とを含む経路検索の条件をサーバ装置11へ送信する。

【0029】

ステップS16が完了すると、サーバ装置11は、ステップS23においてナビゲーション装置10からの経路検索の条件を受信し、ステップS24へ進んで、サーバ装置11はデータベース12へアクセスして現在位置から目的地までの

経路検索を行う。

【0030】

次にステップS25へ進んで、算出した経路上の地図情報とナビゲーション装置10から受信した地図情報の領域とを比較し、ナビゲーション装置10に記憶されていない地図情報を読み出す。そしてステップS26へ進んで、走行予定経路上の地図情報であって地図情報記憶部25に記憶している地図情報のうち、地図情報記憶部25に記憶している地図情報よりも作成日時の新しい地図情報があれば読み出す。

【0031】

そしてステップS27へ進んでステップS24で算出した走行予定経路とステップS25、S26で切り出した地図情報とをナビゲーション装置10へ送信する。

【0032】

ステップS27が完了すると、ステップS17においてナビゲーション装置10は制御部28の指示に基づきサーバ装置11からの走行予定経路と地図情報とを取得し、地図情報記憶部25に記憶する。その後ステップS15へ進み、取得した走行予定経路と地図情報とを用いて経路案内を行う。

【0033】

このように、経路案内時においてナビゲーション装置10に現在位置から目的地までの連続した地図情報が記憶されている場合は、地図情報記憶部25に記憶されている地図情報の作成日時をサーバ装置11へ送信し、地図情報が更新されている場合のみ地図情報を取得するようにすると共に、ナビゲーション装置10内で経路検索することにより、常に最新の地図情報を利用することができると共に、通信時間及び通信費の削減を実現することができる。一方、ナビゲーション装置10に現在位置から目的地までの連続した地図情報が記憶されていない場合は、サーバ装置11から走行予定経路と地図情報記憶部25にない地図情報と作成日時の新しい地図情報のみを取得することにより、常に最新の地図情報を利用することができると共に、通信時間の短縮及び通信費の削減を実現することができる。

## 【 0 0 3 4 】

例えば、地図情報記憶部 2 5 に少なくとも図 4 のような地図情報 3 0 ～ 3 8 が記憶されている場合、現在位置 X と目的地 Y が設定され経路検索が指示されると、地図情報記憶部 2 5 が現在位置 X から目的地 Y までの連続した地図情報を記憶しているので、ナビゲーション装置 1 0 は 3 0 ～ 3 8 の作成日時の情報をサーバ装置 1 1 に送信する。サーバ装置 1 1 は地図情報 3 0 ～ 3 8 の作成日時とデータベース 1 2 内に記憶されている地図情報 1 3 の作成日時とを比較し、作成日時の異なる地図情報のみをナビゲーション装置 1 0 へ送信する。ナビゲーション装置 1 0 は更新された地図情報のみをサーバ装置 1 1 より取得し地図情報記憶部 2 5 へ記憶すると共に、ナビゲーション装置 1 0 内で経路検索が行われ、図 4 に示す走行予定経路 3 9 が算出される。図中、地図情報 3 0 ～ 3 8 は地図情報の単位であり、走行予定経路以外の情報は省略して示している。

## 【 0 0 3 5 】

また例えば、地図情報記憶部 2 5 に図 5 のような地図情報 3 0 ～ 3 2、3 5、3 8 が記憶されている場合、現在位置 X と目的地 Y が設定され経路検索が指示されると、地図情報記憶部 2 5 が現在位置 X から目的地 Y までの連続した地図情報を記憶しているので、地図情報 3 0 ～ 3 2、3 5、3 8 の作成日時をサーバ装置 1 1 へ送信し、以下の処理は上記したものと同様であるが、地図情報 3 0 ～ 3 2、3 5、3 8 を用いてナビゲーション装置 1 0 内で経路検索が行われ、図 5 に示す走行予定経路 4 0 が算出される。このように、図 5 は図 4 で示した地図情報 3 4、3 7 を有していないが現在位置 X から目的地 Y までの連続した地図情報は有しているので、その地図情報を用いて経路検索される。その結果、走行予定経路 4 0 は図 4 の走行予定経路 3 9 と異なる。

## 【 0 0 3 6 】

また例えば、地図情報記憶部 2 5 に図 6 のような地図情報 3 0 ～ 3 2、3 8 が記憶されている場合、現在位置 X と目的地 Y が設定され経路検索が指示されると、地図情報記憶部 2 5 が現在位置 X から目的地 Y までの連続した地図情報を記憶していないので、ナビゲーション装置 1 0 は経路検索条件をサーバ装置 1 1 へ送信する。そしてサーバ装置 1 1 で経路検索が行われ、図 7 に示す走行予定経路 3

9が算出され、データベース12から地図情報34、37が取り出され、更に、地図情報記憶部25に記憶されている地図情報よりも作成日時の新しい地図情報がある場合は、新しい地図情報を切り出し、それらがナビゲーション装置10へ送信される。このように、図7と図4の走行予定経路39は同じであり、図5の走行予定経路40と異なる。走行予定経路39は走行予定経路40よりも短い距離で最適な経路といえる。

#### 【0037】

即ち、図4のように地図情報記憶部25に目的地までの全ての周辺地図を記憶している場合は、ナビゲーション装置10内で最適な経路が検索できる。一方、図5のように地図情報記憶部25に目的地までの特定の地図情報を記憶している場合は、ナビゲーション装置10内で経路検索は可能であるが、最適な経路でない場合がある。従って、最適な経路を検索したい場合は、通信費や通信時間はかかるがサーバ装置11で経路検索する必要がある。

#### 【0038】

そこで、ステップS11において目的地までの地図情報が地図情報記憶部25に記憶されている場合でもナビゲーション装置10で経路検索を行うか、サーバ装置11で経路検索を行うかをユーザが選択できるようにしておくことが望ましい。

#### 【0039】

なお、上述の実施例では更新日の比較をサーバ装置が行ったが、サーバ装置が地図データを送信する前に更新日をナビゲーション装置に送信し、ナビゲーション装置が更新日を比較して地図データを受信するか否かを判定するようにしてもよい。

#### 【0040】

なお、経路検索の前に予め検索する道路の種別を指定できるようにしてもよい。その指定は例えば目的地を設定した後で行えるようにすればよい。ここで、道路の種別とは、例えば、高速道路を使用するか否か、有料道路を使用するか否か、国道を優先して使用するか否か等、使用する道路の条件によって分類することができる。これにより、通行料を払いたくない場合や、広い道路を通りたい場合

等、ユーザの所望する道路条件の走行予定経路を検索することができる。

【 0 0 4 1 】

また本発明において、経路検索時には、道の混み具合や距離等に基づいて走行予定経路を算出することができる。その際、道の混み具合は V I C S (Vehicle Information and Communication System) 等の交通情報を利用することができる。

【 0 0 4 2 】

また本発明において、地図情報記憶部 2 5 の容量が足りなくなった場合は、不要な地図情報を消去して新しい地図情報を取得すればよい。ここで不要な地図情報とは、取得日や作成日時の古い地図情報としたり、使用頻度の低い地図情報とすることができる。

【 0 0 4 3 】

更に本発明において、経路検索を行わずに現在位置周辺の地図情報を表示しながら走行する場合、画面スクロールに合わせて次に表示する地図情報が地図情報記憶部 2 5 にないときはサーバ装置 1 1 から必要な地図情報を取得するようにすればよい。

【 0 0 4 4 】

本発明のナビゲーション装置は、ポータブル用、車載用としてだけでなく、携帯電話、PDA (携帯情報端末)、パーソナルコンピュータ等に搭載することもできる。

【 0 0 4 5 】

【発明の効果】

本発明によれば、経路案内時においてナビゲーション装置に出発地から目的地までの連続した地図情報が記憶されている場合は、サーバ装置へ記憶している地図情報の作成日時に関する情報のみを送信し、記憶している地図情報が古い場合のみ地図情報を取得することにより、不要な通信時間及び通信費を必要とせず最新の地図情報を取得することができる。

【 0 0 4 6 】

また本発明によれば、ナビゲーション装置に出発地から目的地までの連続した

地図情報が記憶されていない場合は、サーバ装置から走行予定経路と地図情報記憶部になく地図情報と記憶している地図情報よりも作成日時の新しい地図情報のみを取得することにより、通信時間の短縮及び通信費の削減を実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の通信システムの構成を示すブロック図である。

【図 2】 本発明のナビゲーション装置の構成を示すブロック図である。

【図 3】 本発明のナビゲーション装置とサーバ装置との動作を示すフローチャートである。

【図 4】 本発明のナビゲーション装置に記憶されている地図情報と走行予定経路の一例を示す図である。

【図 5】 本発明のナビゲーション装置に記憶されている地図情報と走行予定経路の他の例を示す図である。

【図 6】 本発明のナビゲーション装置に記憶されている地図情報と現在位置と目的地の一例を示す図である。

【図 7】 図 6 に取得した地図情報と走行予定経路とを重ねた図である。

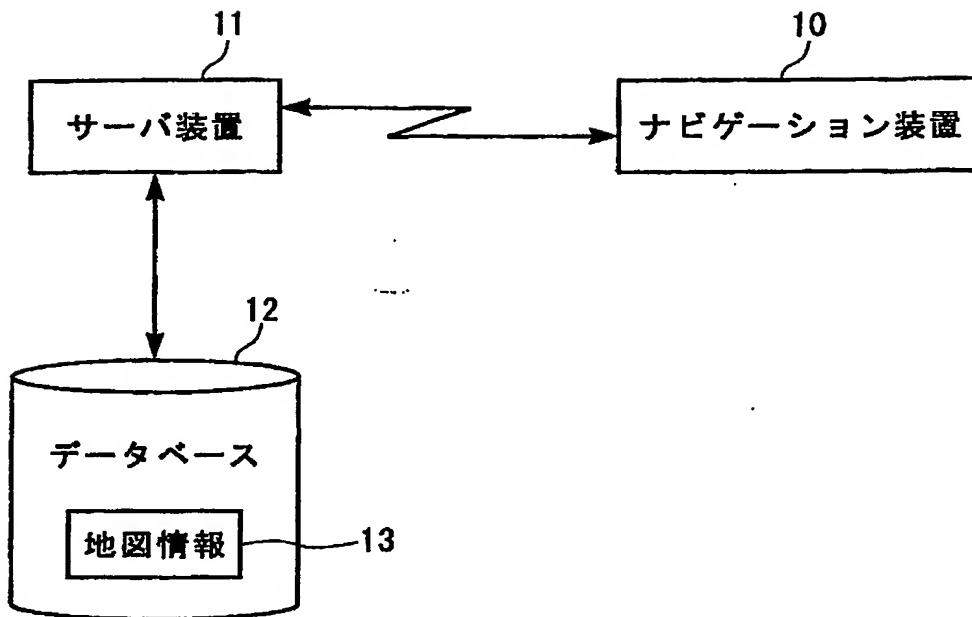
【符号の説明】

- 10 ナビゲーション装置
- 11 サーバ装置
- 13、30～38 地図情報
- 25 地図情報記憶部

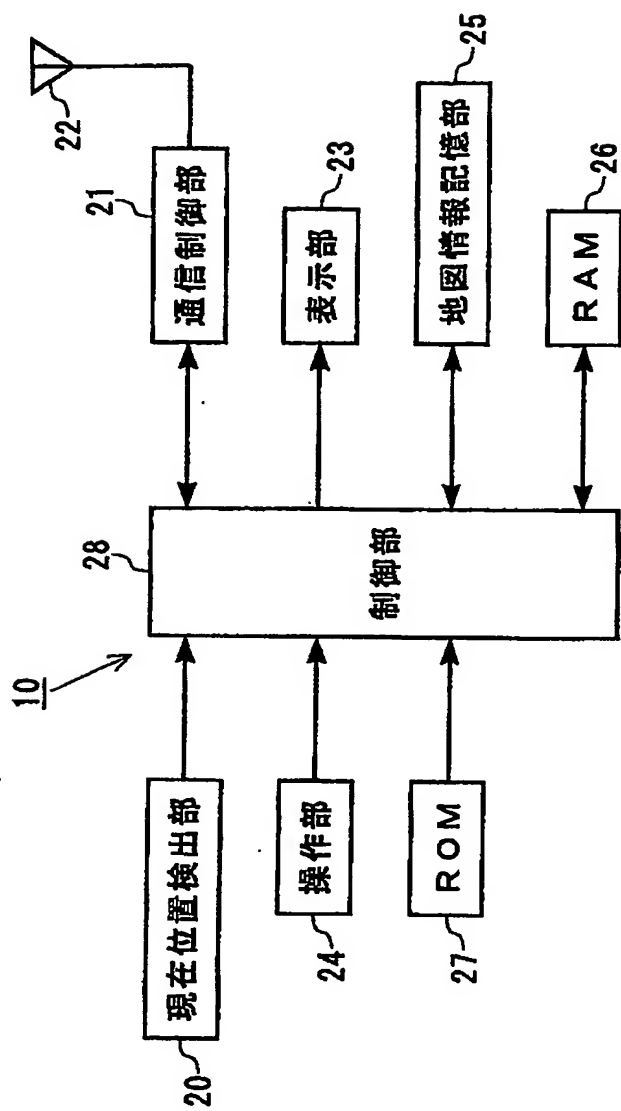


【書類名】 図面

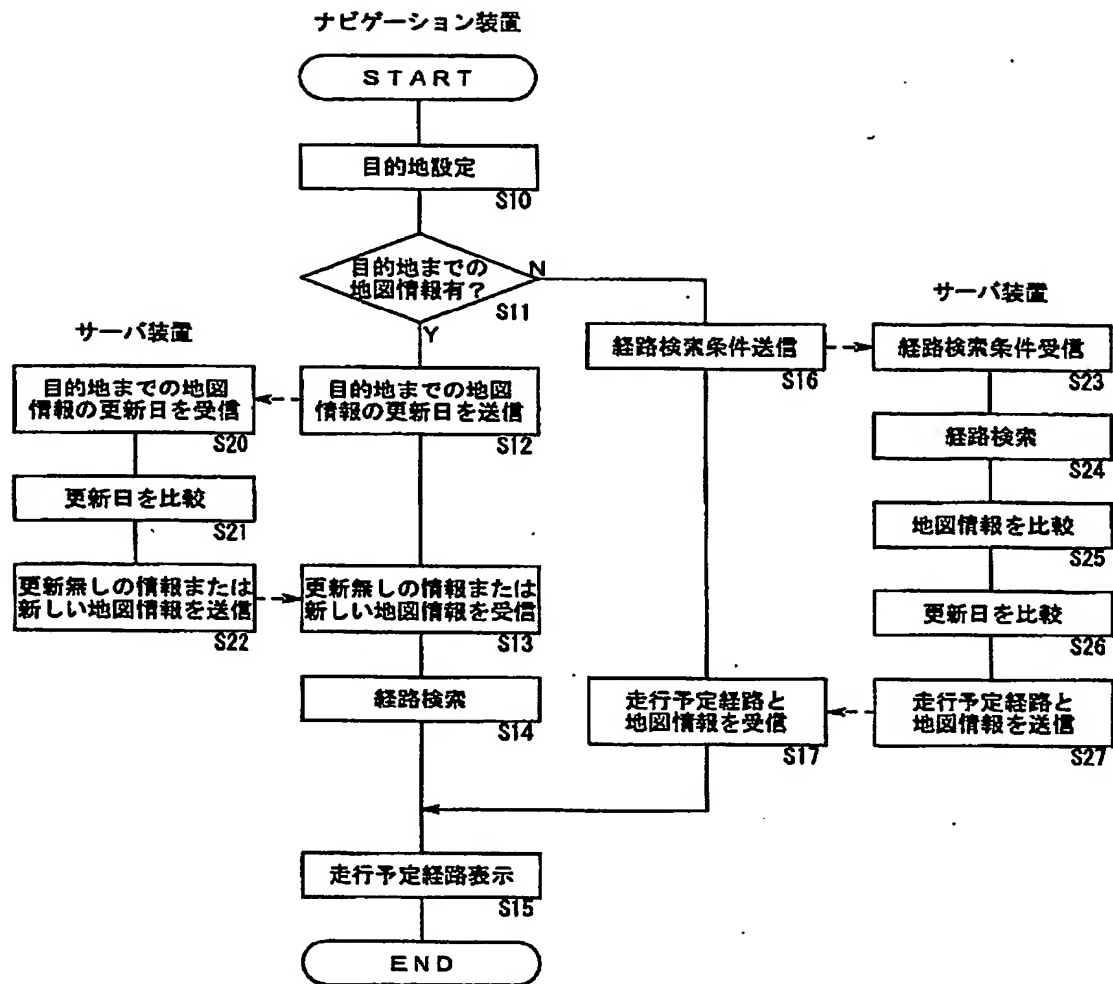
【図1】



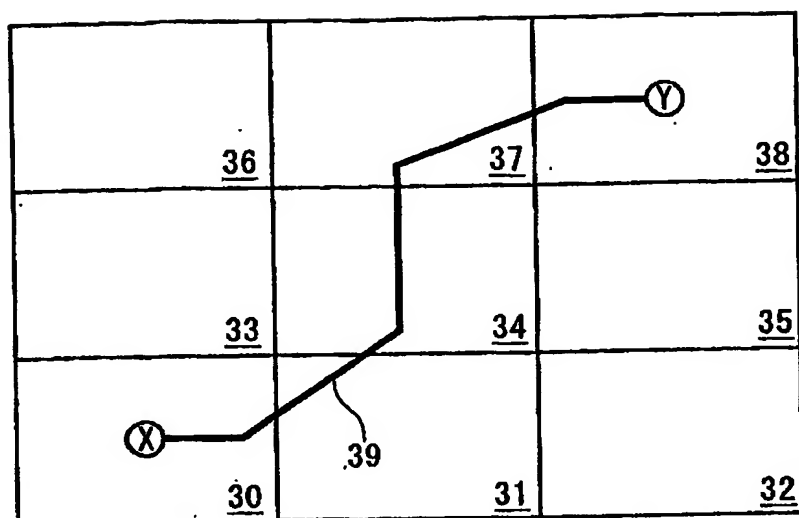
【図 2】



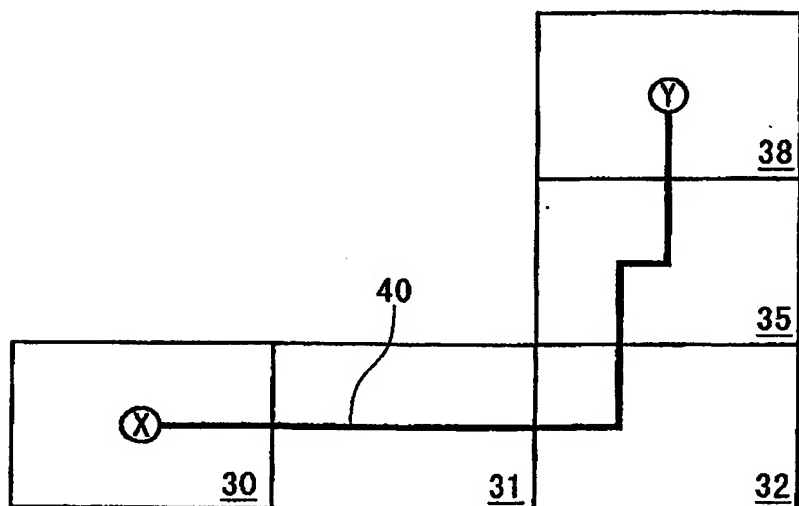
【図 3】



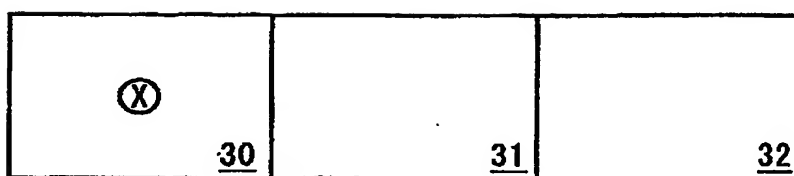
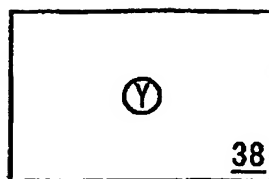
【図4】



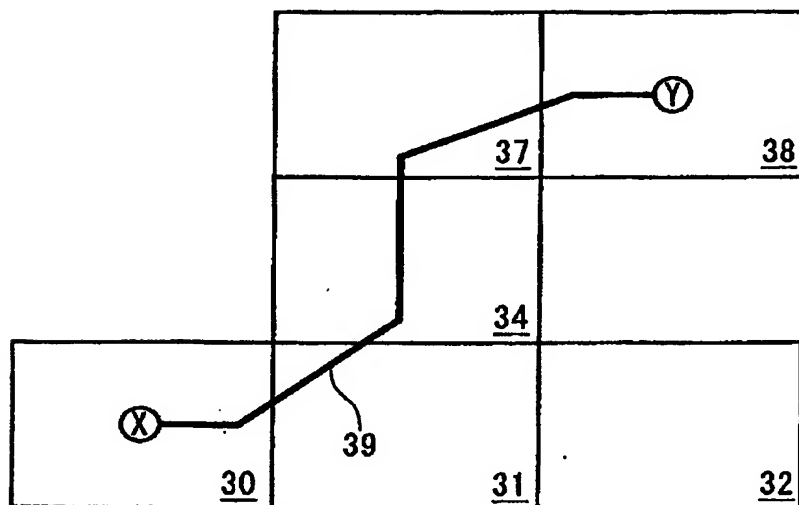
【図5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 通信時間の短縮及び通信費の削減を実現するナビゲーション装置及びサーバ装置を提供することである。

【解決手段】 ナビゲーション装置 1 0 は、地図情報記憶部 2 5 が出発地から目的地までの連続した地図情報を記憶しているときは、地図情報の作成日時をサーバ装置へ送信し、更新された地図情報のみを受信して地図情報記憶部 2 5 へ記憶すると共に、記憶されている地図情報を利用して経路検索し、地図情報記憶部 2 5 が出発地から目的地までの連続した地図情報を記憶していないときは、サーバ装置へ出発地及び目的地の地図情報を送信し、サーバ装置で検索された経路上の地図情報であって地図情報記憶部 2 5 に記憶していない地図情報と地図情報記憶部 2 5 に記憶されている地図情報のうち作成日時の新しい地図情報をサーバ装置から取得する構成とする。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001889]

1. 変更年月日 1993年10月20日

[変更理由] 住所変更

住 所 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

氏 名 三洋電機株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000214892]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地  
氏 名 鳥取三洋電機株式会社



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**